



SEIDANREN  
**生団連**

国民生活産業・消費者団体連合会

## 生団連ニュースレター Vol.86

生団連ニュースレターでは、「国民の生活・生命を守る」という使命のもと、様々な活動に取り組む生団連の最新情報を皆様にお伝えしています。

2022年5月号

### 2022年度第1回 常務理事会・理事会合同会議 開催

2022年4月8日(金)、2022年度第1回常務理事会・理事会合同会議を帝国ホテル「孔雀の間(東)」にて開催しました。

会場とWEB会議システムを繋いだハイブリット形式で執り行い、リモート参加も含め総勢55名にご出席いただきました。2021年度の各委員会活動を報告後、2022年度活動計画(案)について活発な意見交換が行われました。全議案が原案通り承認可決され、各課題について積極的な活動を継続して行っていくことが確認されました。



#### 【主な議論内容】

##### ◆有事における国民的危機への対応（最重点課題）

司令塔実現に向けて調査・研究を進め、政・官に引き続き提言を行っていく。

##### ◆「国家財政の見える化」の実現に向けて

予算制度改革である「3か年複数年度予算制度」の実現に向けた活動を、最優先課題として注力していく。

##### ◆「生活者としての外国人」の受入れ体制の構築に向けて

生団連会員内での採択企業をより一層拡大させ、ウェブを作っていく。

##### ◆「エネルギー・原発問題」の国民的議論に向けて

現地現物活動を継続するとともに、収集したファクトを用いた情報発信や生団連会員および国民との情報交換の機会を積極的に設けて活動を行っていく。

##### ◆災害支援スキームの構築

大規模災害時に生団連として迅速な支援を行うため、「生団連 災害支援基金(仮)」を設立する。

##### ◆<緊急議題>有志によるウクライナ支援について

ロシアのウクライナ侵攻により民間の避難民が急増する中で、会員の有志による支援を行っていく。具体的内容については迅速に事務局内で検討する。

##### ◆ジェンダー主流化委員会について

本課題を本会をもって重点課題として位置付ける。今後、より一層企業と消費者が一体となった開かれた議論を行う事で、ジェンダー平等社会の実現に向けた活動を行っていく。

## 第10回 消費者部会 開催

### 3月29日（火）第10回消費者部会が開催されました。

阿南部会長による議事進行のもと、各課題の2022年度活動方針について、参加者による活発な議論や意見交換が行われ、全議題が承認決議されました。また内閣官房参与（社会保障・人口問題）の山崎史郎氏より、「人口減少問題と子育て世代の働き方」をテーマに講演をいただきました。

#### <2022年度活動方針に対する主なご意見>

- 災害時に支援要請の前にプッシュ型で送るスキームがあるが、現地で支援物資が余ってしまう現状がある。行政とも連携しながら、被災地が本当に必要な物資を把握し送ることも視野に入れる必要あるのではないかな。
- ジェンダー主流化は人類にとって非常に重要な課題である。企業活動にも大きく関わる問題であるので、ワールドカフェ方式で様々な意見交換を行っていきたい。



#### <講演>

#### 『人口減少と子育て世代の働き方』

講師：山崎史郎 内閣官房参与（社会保障・人口問題担当）

#### ～講演要旨～

- ・日本の最大の課題は、育休制度をはじめとする両立支援策の対象者が限定されていること
- ・育休制度によって乳児期をカバーするだけでなく、児童手当も充実させ幼児期から児童期、さらには高校終了まで経済的支援を強化出来れば両立支援の効果が発揮される
- ・東京一極集中を是正し地方を活性化することによって、日本全体の出生率向上を目指すべき

## 「外国人の受入れに関する基本指針」新たに3企業・団体が採択

2022年4月1日、3つの会員企業・団体様より各社オリジナルの基本指針を採択いただきました。

- **日本水産株式会社：「ニッスイグループ外国人の受入れに関する基本指針」**  
自社グループの倫理憲章にも言及しながら、外国人一人ひとりが最大限に能力を発揮できるよう、環境づくりに努めることや、行政とも連携の上で共生社会の構築を目指すこと等を記載いただきました。  
<https://nissui.disclosure.site/ja/themes/222>
- **株式会社関東地区昔帰りの会：「外国人の受入れに関する昔がえりの会グループ基本指針」**  
自社グループの行動憲章にも言及しながら、外国人との雇用関係だけでなく、技術支援や文化的交流を通じて、共生社会の構築に取り組むこと等を記載いただきました。  
<https://mukashigaeri.jp/2022/04/04/809>
- **一般社団法人外国人材活躍推進協議会（FORSA）：「外国人の受入れに関するFORSA基本指針」**  
外国人留学生の受入れ・雇用促進に取り組む団体として、日本で暮らし、学び、働く上で、適切な支援を行うことや、地域社会・国際社会との交流を図り、真の共生社会の構築を目指すこと等を記載いただきました。  
<https://forsa.or.jp/>

「外国人の受入れに関する基本指針」については、引き続き会員の皆様と意見交換を重ねて、採択を広げていきたいと考えております。生案連会員の皆様におかれましては、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



ニュースレター

【お問合せ先】

国民生活産業・消費者団体連合会(生団連) 小坂 出水 ☎ : 03-6833-0493 ✉ : jimu@seidanren.jp  
〒108-0075 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル8階 URL : <https://www.seidanren.jp/>